

第1355回日本図書館協会選定図書

幅広い用途にこたえる 淡水藻図鑑!!

日本淡水藻図鑑

B 5判・960頁
口絵カラー8葉
背革極上製本
定価 36,000円

ILLUSTRATIONS OF THE JAPANESE FRESH-WATER ALGAE

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

秋山 優・庵谷 晃・今堀宏三・加崎英男

熊野 茂・小林 弘・高橋永治・津村孝平 共著

平野 實・廣瀬弘幸・山岸高旺

■目次10頁、図版258頁、記載568頁、採集と研究法11頁、日本淡水藻研究略史9頁、文献43頁、学名・和名・術語索引35頁

■図版を左頁に、記載を右頁にして利用の便を図った

■各藻類群ごとに目、科、属の特徴、形質を述べ、さらに検索表を付す、随所に特殊な藻類の分布、生殖法、利用法や藻類学者の小伝などのノートを挿入

■珪藻は当初予定より増頁のため別冊鋭意執筆中

日本図書館協会選定図書

生物学史展望

井上清恒著 五千年に渉る生物学の流れを追い、各時代の学の特徴を浮彫にすると共に個別分野の発展の跡をも正確に跡付けてあり、研究者は生物学体系内の自己の立場を照らすことができる。A5・価4800円

動物101話

川崎 勉著 植物と同様に動物を愛する著者は、長年にわたって身近な動物達の生活を観察し続けてきた。そしてここに101種の動物達の生活の意外な一面を楽しく描き出している動物記。B6・価1300円

世界の珍草奇木

—植物にみる生命の神秘—

川崎 勉著 一般に見のがされている自然界の一部、植物の世界のめずらしい草木の生活、生態を見ると植物の持つ力づよい生命力に感銘を受け、改めて植物への興味をそそらせる。B6・価1300円

日本海藻誌

3・3判・価20000円
岡村金太郎著 海藻学の全般を精密克明な解説と実地調査で裏付けした不朽の名著。

藻類学総説

菊判・価10000円
廣瀬弘幸著 藻類の分類と形態を重点に置いて、克明な図により丁寧に解説する参考書。

植物組織学

B5判・価15000円
猪野俊平著 植物組織学の定義・内容・発達史から研究方法を幅広く詳述した唯一の書。

●前2著につづく

世界の珍草奇木余話

—植物と花と人生と— B6・価1300円

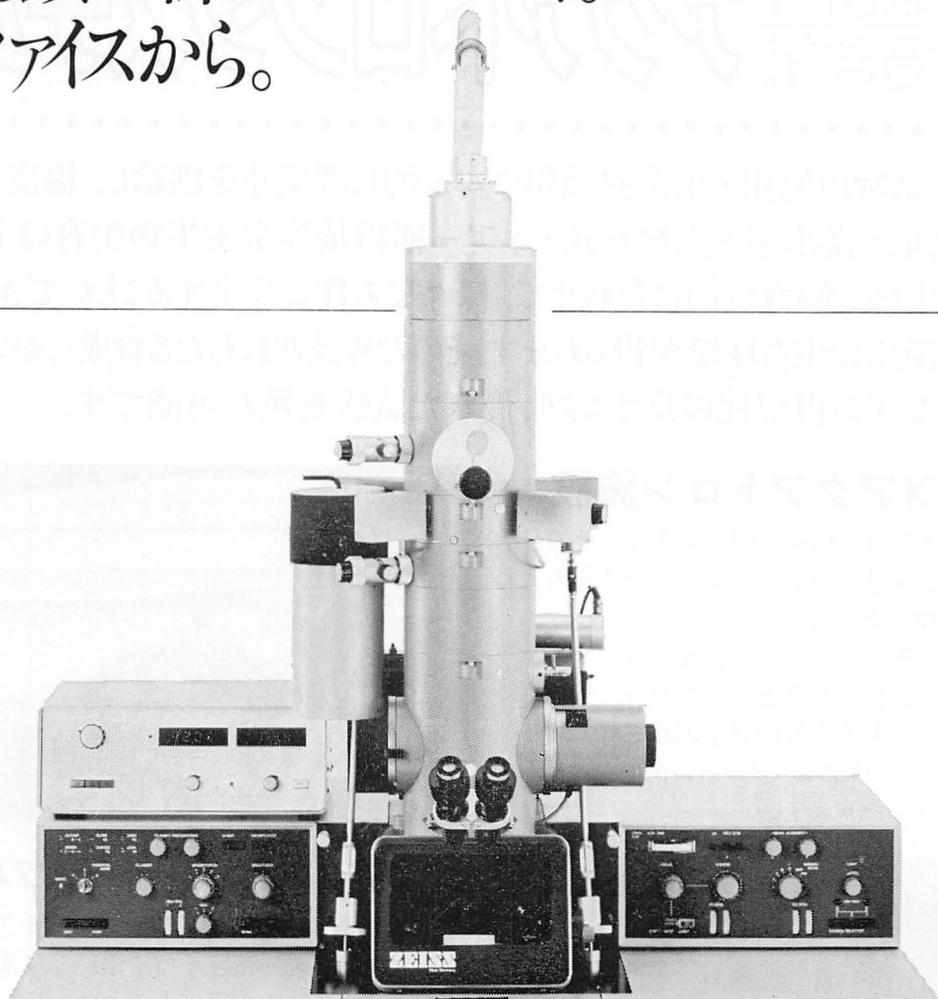
動物雑話101

B6・価1300円

株式会社 内田老鶴園

〒102 東京都千代田区九段北1-2-1
☎(03)265-3636 振替東京3-6371番

電顕の新しいコンセプト。
ツアイスから。



ZEISS

West Germany

透過電子顕微鏡

EM 109

光顕レベル(150×)で高解像を実現

透過電子顕微鏡EM109は、光学顕微鏡レベルの倍率、たとえば、150×では200Åの解像力を保証します。そして、ボタンひとつで3000×あるいは400,000×まで拡大でき、3.44Åの解像力を実現します。

高画質のためのアイデア

MDF(微量線量フォーカス):新しい自動フォーカスシ

テムにより、試料の損傷が避けられます。固定フォーカスズームシステムにより、焦点合わせが非常に早く簡単になりました。

TFP(トランス ファイバー オプティック):カメラは真空外に置かれているため、フィルムの交換が容易です。

IGP(イオンゲッター ポンプ)で、クリーンな真空が得られます。

カール ツァイス株式会社
器械部 EM課

本社/〒160 東京都新宿区本塩町22番地
大阪営業所/〒542 大阪市南区南船場2-2-11 南船場ビル
名古屋営業所/〒461 名古屋市東区代官町35-16 第一富士ビル
福岡営業所/〒810 福岡市中央区赤坂1-15-27 赤坂ハイツ
仙台営業所/〒980 仙台市木町通り1-8-18 田村ビル

☎(03) 355-0331代
☎(06) 262-0128代
☎(052)931-6811代
☎(092)713-7821代
☎(0222)25-7531代

試験研究
栽培漁業

アクアトロンシステム

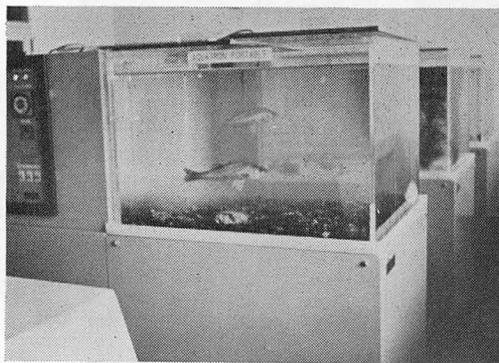
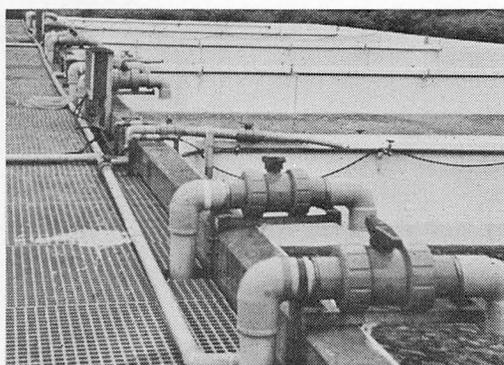


試験研究用・生産養殖用に安定的に調温水を供給し、温度・流量・換水率・流水方式・エア補給量等水生生物生育の主要因を、飼育目的に合わせて、様々な条件に設定することができ、安定した生育環境が得られます。そのため長期にわたる育成においても、その再現性の良さにより、優れた試験養殖が可能です。

◎アクアトロン施設

大規模な飼育設備である程、その目的と、装置とのトータルバランスを考えねばなりません。

小系のアクアトロン施設は、そのバランスの良さもさることながら、省エネルギーをも考え合わせて設計されており、コスト・パフォーマンスの高いシステムとなっております。



◎アクアトロン・ポータブル

小中規模ながら、高精度条件を要求される施設に合った、小型水温調節装置です。海水・淡水の区別なくお使いになれるので、設置場所を選びません。

〈仕様例〉 型 式 APU-253A

温 度 10~35°C ±0.5°C

水 槽 500ℓ

エアー 送水スプレー式エアレーション

目的にあった使いやすいシステム創り..... 私たちは追求します

KOTO

小系工業株式会社

**環境調節
事業部**

営業部：〒108 東京都港区港南2-6-10三矢ビル ☎(03)472-3921(代表)

☎大阪支店(06)362-9391

☎広島支店(082)262-1341

☎札幌支店(011)231-0460

☎九州支店(092)431-0838

☎仙台支店(0222)25-7954

☎筑波業務所(0298)51-2311

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号1,250円、非会員各号2,000円、30巻4号(1-30巻索引付)のみ会員3,750円、非会員5,000円、欠号：1巻1-2号、5巻1号、6-9巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10巻、価格、会員1,000円、非会員1,500円。11-20巻、会員1,500円、非会員2,000円。1-30巻、会員2,500円、非会員3,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補。1977。A 5版, xxviii+418頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26, 和文24)を掲載。価格5,500円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編。1972。B 5版, xiv+280頁, 6図版。昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載。価格3,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977。B 5版, 65頁。昭和49年9月に札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格700円。

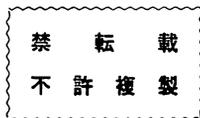
Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Laboratory of Phycology, Tokyo University of Fisheries, Konan 4chome, Minato-ku, Tokyo, 108 Japan.

1. Back numbers of the Japanese Journal of Phycology (Vols. 1-28, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,500 Yen per issue for member, or 2,500 Yen per issue for non member, price of Vol. 30, No. 4, with cumulative index (Vol. 1-30), 4,500 Yen for member, or 6,000 Yen for non member. Lack: Vol. 1, Nos. 1-2; Vol. 5, No. 1; Vol. 6-Vol. 9, Nos. 1-3 (incl. postage, surface mail).
2. Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology. Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962) Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972), Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member. Vol. 1 (1953)-Vol. 30 (1982). Price 3,000 Yen for member, 3,500 Yen for non member (incl. postage, surface mail).
3. A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977. xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. ¥ 6,000 (incl. postage, surface mail).
4. Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific. Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI. 1972. xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. ¥ 4,000 (incl. postage, surface mail).
5. Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido (in Japanese). 1977. 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. ¥ 700 (incl. postage, surface mail).

昭和58年6月10日 印刷
昭和58年6月20日 発行

©1983 Japanese Society of Phycology



編集兼発行者

三 浦 昭 雄

〒108 東京都港区港南4-5-7
東京水産大学 植物学教室内

印 刷 所

学術図書印刷株式会社

〒176 東京都練馬区豊 北二丁目1番

発 行 所

日 本 藻 類 学 会

〒108 東京都港区港南4-5-7
東京水産大学 植物学教室内
振 替 東京 4 1 3 9 1 7 6

Printed by GAKUJUTSU TOSHO Printing Co.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金(研究成果刊行費)による。

藻 類

目 次

マイケル W. ホークス：ニュージーランド特産の奇妙な紅藻 <i>Apophlaea sinclairii</i> の解剖的構造…………… (英文) 55	55
熊野 茂・I. M. ジョンストン：パプア・ニューギニアの淡水産紅藻 I. 低地産 <i>Batrachospermum nova-guineese</i> , sp. nov. について…………… (英文) 65	65
P.M. シバリンガム：ヤン油用製粉所からの排出汚物で培養した SCP 用 <i>Chlorella vulgaris</i> の栄養価…………… (英文) 71	71
熊野 茂：パプア・ニューギニアの淡水産紅藻 II. 高地産 <i>Batrachospermum woitaense</i> , sp. nov. について…………… (英文) 76	76
藤井修平・竹西真弓・万谷司郎・高田英夫：数種の <i>Dunaliella</i> の Mg イオン高張環境下における生長…………… (英文) 81	81
加藤季夫：ゾウミジンコの殻面から得られた <i>Colacium libellae</i> について…………… 88	88
大森長朗・橋田順子：エゾヤハズの四分胞子発生機構の解析 VIII. 四分胞子発生におよぼす Ca^{2+} , K^+ , Mg^{2+} 欠如の影響…………… 92	92
寺脇利信・野沢治治・新村 巖：ホンダワラ類の初期形態形成に関する研究—III. アカモク…………… 97	97
◆ ◆ ◆	
ノート	
藪 熙・安井 肇：フシスジモクの 4 倍体…………… (英文) 86	86
山本弘敏・鳥居茂樹：エナガオニコンブ, オニワカメ, フウチョウワカメの新産地…………… 102	102
中沢信午：マリモの各種言語名…………… 104	104
◆ ◆ ◆	
学会録事・会告…………… 104	104
◆ ◆ ◆	
日本藻類学会第 7 回大会講演要旨…………… 107	107